
東京

着服:国分寺市営駐輪場の運営委託会社元社員2人、市が告発へ / 東京

◇被害52万～397万円

国分寺市が「日本環境マネジメント」(さいたま市)に運営を委託している市営臨時自転車駐輪場(本町4)で、同社の元社員2人がチケットを改ざんして売上金の一部を着服していた問題があり、市の調査員会は被害額は最大で約397万円に上るとする報告書をまとめた。市議会総務委員会に報告され、市は小金井署に刑事告発する方針。

報告書によると、調査委員会は利用実績や関係者の証言を基に被害額を最大で約397万円、最小でも約52万円とした。いったん使用済みとなったチケットを回収して改ざんし、利用者から徴収した利用料をブールする手口で、ブールした現金は職場の忘年会や消耗品の購入などに充てられていたという。

今年4月に同社の調査で不正が判明。2人を解雇するとともに、報告を受けた市が調査委員会を設置して調べていた。同社は市内で計3カ所の駐輪場の業務委託を受けており、市は同社に対して損害賠償請求や指定管理の取り消しを検討している。【河嶋浩司】

〔都内版〕

毎日新聞 2011年9月10日 地方版

[このニュースに関連する動画を投稿](#) 

[東京](#) [アーカイブ一覧](#)